

# 文教警察委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和元年9月11日（水）～9月13日（金）

## ◆調査先・調査内容

### ①警視庁交通管制センター（東京都港区新橋）

調査内容：大規模イベント時の交通規制、交通管制について

警視庁交通管制センターは、安全かつ快適で環境にやさしい交通社会を実現するため、道路交通に関する情報の収集・分析及び提供を行うほか、交通渋滞解消のための信号機調整などを行う施設である。また、都内では毎年のように大規模なイベントが多数開催されており、交通規制等のノウハウが蓄積している。

来年には、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も予定され、警視庁では今年7月から8月にかけて交通量の低減、交通規制、開会式・閉会式を想定した交通対策テストも実施している。

今回の調査では、センターの概要及び世界最高水準と言われる交通管制システムの信号機調整等の具体的な方法について調査を行うとともに、大規模イベント時や災害時の交通規制、交通管制の在り方についても調査を行った。

<主な質疑等>

- ・災害時における他県との連携について
- ・システム不具合時の対策について
- ・オリンピック、パラリンピックを想定した輸送テストの結果について



### ②北海道小樽水産高等学校／古平栽培漁業実習場（北海道小樽市若竹町、古平町三崎町）

調査内容：職業意識と自覚を涵養する水産業専門教育と栽培漁業科の実習について

北海道小樽水産高等学校は、創立114年、生徒数は本科468名、専攻科32名の大規模な水産専門校である。海洋漁業科、水産食品科、栽培漁業科、情報通信科の4学科と、漁業科、情報通信科の専攻科2学科を有している。また、小樽市からバスで1時間程度にある古平町には、古平栽培漁業実習場を有し、主に栽培漁業科の生徒が種苗生産やホタテの養殖、潜水や漁船による実習を行っている。

今回の調査では、本校で小樽水産高校の概要と海洋漁業科、栽培漁業科の教育課程や卒業生の進路、就職先、地域連携等について説明を受けるとともに、本校では潜水用プールや海洋漁業科、栽培漁業科の実習施設を、古平栽培漁業実習場では宿泊施設や種苗生産施設の調査を行い、将来の漁業を担う人材育成を行う水産専門校の在り方について、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・漁業後継者の入学者数と卒業後の進路や親元就職の状況について
- ・小中連携と入学者確保の取組について
- ・古平栽培漁業実習場の施設管理と建て替えの検討について



### ③北海道埋蔵文化財センター（北海道江別市西野幌）

調査内容：公益財団法人によるセンターの運営と課題について

（公財）北海道埋蔵文化財センターは、北海道内の埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、文化財の保護及び活用を図るため、昭和54年9月に北海道教育委員会の認可により発足している。平成11年4月には教育委員会の委託を受け、北海道立埋蔵文化財センターの管理運営を開始、平成18年4月には指定管理者制度に移行している。また、札幌市、江別市内にある10の歴史文化、自然科学系の施設と連携を行う文化施設連絡協議会に所属し、来館者の確保に努めている。ホームページでの情報発信にも力を入れ、調査年報や年2回刊行する広報誌のPDF化や、外国人向けに4カ国語で利用案内するなど利用者の利便性強化を図っている。

今回の調査では、公益財団法人によるセンターの運営や課題、センターの展示施設、収蔵埋蔵文化財について調査するとともに、埋蔵文化財の保護、普及啓発、地域活性化等への活用について、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・指定管理者制度の応募状況と委託料及び修繕費について
- ・埋蔵文化財の保管と市町村への返却について



### ④学校法人札幌慈恵学園札幌新陽高等学校（北海道南区澄川）

調査内容：民間出身校長の取組による入学者のV字回復とICTの活用について

学校法人札幌慈恵学園札幌新陽高等学校は男女共学の私立高校である。荒井校長は、数々の民間企業に勤務した後、平成28年から第12代校長に就任している。校長就任時の同校は入学者数の減少により経営危機にあったが、日本一の高校にしようとする教育改革、学校改革の取組を開始、教育目標を2020年に向けての教育改革と定め、AO・推薦入試での進学を目指した取組を行っている。また、学校のICT化にも力を入れ、職員室はフリーアドレスとし、学校で利用するデータはクラウドに置き、教職員や生徒がアクセスするなど、教育だけでなく校務管理のICT化も進んでいる。地域に学校をよく知ってもらう活動により、入学者数は4年間でV字回復している。

今回の調査では、後期中等教育機関である高等学校に求められる教育課程や、大学に進学しない生徒が卒業後に社会で求められるコミュニケーション能力やスキルの育成について調査を行い、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・行政視察の受入れについて
- ・留学生の受入状況について

